

**熊本県立鹿本商工高等学校 令和4年度(2022年度)学校評価表**

<b>1 学校教育目標</b>
<p>令和4年度(2022年度)熊本県教育委員会各課の重点及び取組の方向性をふまえ、本校の全ての教育活動を通して、校訓「創造・礼節・勤労」を基盤に、知・徳・体の調和に留意し、心身ともに健康で、豊かな心をもった生徒を育成する。</p> <p>社会的・職業的自立に向けた教育活動を展開することにより、次代の産業を担う誠実で自立できる産業人の育成に取り組む。また、地域と連携した実践的な活動をとおして豊かな人間性を育み、地域社会から信頼される学校づくりを目指す。</p>

<b>2 本年度の重点目標</b>
<p>(1) 学力向上と教科指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上と資格取得の推進</li> <li>・次代の産業を担う「技と心と志」の育成</li> <li>・授業力向上と授業における情報化推進、新学習指導要領への対応</li> </ul> <p>(2) 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に行動し、健全な心身の育成</li> <li>・段階的指導の有効活用と生徒支援体制の充実</li> <li>・思いやりと感謝の心を持つ生徒の育成</li> </ul> <p>(3) キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立</li> <li>・将来への目的意識を持った勤労観・職業観の育成</li> <li>・生徒の特性に応じた進路指導</li> </ul> <p>(4) 人権教育・道徳教育・主権者教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人権感覚、人権尊重の精神の育成</li> <li>・体験的学習等を通じた思いやりと感謝の心、命を大切にする心の育成</li> <li>・社会の形成者としての自覚と政治的教養の育成</li> </ul> <p>(5) 地域連携の充実(クリエイトハイスクール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に開かれた学校づくり(公開授業、体育大会、商工フェスタ、奎堂文庫展示資料室の一般公開等)</li> <li>・コミュニティスクールの推進</li> <li>・地域との交流やボランティア活動の推進</li> <li>・地域と連携した専門教育の実践と地域貢献活動の取組</li> <li>・かもと稲田支援学校高等部との交流によるインクルーシブ教育の推進</li> <li>・ICTを活用した広報・情報発信の充実</li> </ul>

<b>3 自己評価総括表</b>						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	教育目標の周知	本校の教育目標が職員・生徒・保護者に理解されている	・スクール・ミッション及び教育目標を職員・生徒・保護者が理解している。	職員会議及び面談等で職員への周知を図る。生徒・保護者への配布物やHP等で周知する。	B	学校評価アンケートによる保護者アンケートでは「分からない」と回答した割合が多く、コロナ禍において学校の活動の様子のみならず教育方針等の周知に課題が残った。
	働き方改革及び業務改善	業務の効率化、年休取得推進	・職員アンケートの該当項目の評価平均3.0以上	・ICTを活用した業務改善 ・業務の定期的な見直し ・積極的な年休取得の呼びかけ	B	・職員朝会や職員会議等における配布資料のペーパーレス化を図り、印刷の負担軽減を図った。 ・職員アンケートの校務改善に係る項目は2.78であり、昨年度から0.18p低下した。
	育友会活動の充実	行事参加率の増加	各行事(総会、フェスタ、長距離走大会)の実施と参加者の増加(前回(R1)総会58.9%、フェスタ26.0%、長距離走18.0%)	通知文書と安心安全メールの併用することで連絡の徹底を図る。また、過日でも回収文書の催促を行う	B	コロナ禍の中、総会のみではあったが実施したことは意義が大きい。出席率は50.5%と低かったが、コロナの影響があると思われる。
	親子対話の促進	調査用紙等の文書回収率の増加	回収率95%以上		B	総会の調査用紙回収率は99%でほぼ完ぺきな状態であった。
	保護者による情報発信の取組	育友会誌「雲生る」の毎学期発行	広報委員会を開催し保護者目録での内容とする	B	「雲あるる」発行は予定どおりできた。情報発信については、広報部と連携を取り進めているものであり、今後もより連携を深めていきたい。	

	入学者確保に向けた取組の充実	近隣中学校への情報提供の充実	中学校への説明会や配布物の充実と、ホームページ記事の掲載数増加	最新設備披露会の実施や配布物の制作・配布、ホームページの活発な更新を行う。	B	最新設備等披露会や各中学校への訪問等を通して、近隣中学校や中学生・保護者への情報提供を行った。ホームページには、学校行事や各学科の取組、部活動についての記事を約150件掲載した。	
		体験入学の参加者の確保	参加者数150名以上	近隣中学校を訪問して募集する他、配布物やホームページで広く呼びかける。	B	中学校訪問やホームページで広く呼びかけ、昨年度より増加したが、申込生徒数は115名で、当日は新型コロナウイルス感染症による欠席等もあり、104名の中学生が参加した。	
		前期及び後期選抜受験者の確保	受験者数100名以上	説明会や配布物、ホームページを充実させ、継続的に広報活動を行う。	B	各中学校説明会・本校主催の説明会・外部での説明会や、各種広報紙、動画を含むホームページ記事を通して、近隣中学校や地域への広報活動を継続的に行った。	
学力向上	基礎学力の向上	観点別学習状況評価に関する教務規定の作成	各観点の評価項目数を複数設定	評価表の項目調査を行う。	B	該当科目の評価項目を全職員で検討できた。1年生のみの対応であったので、今後更なる研修が必要となる。	
		ICT機器活用の充実	授業でのICT機器利用率70%	使用実態アンケートを作成し実施する	B	県から優良校の表彰を受けるなど、ICT機器の活用は非常に良い。	
	授業改善	研究授業の充実	各教諭2年間に1度は実施を100%	研究授業週間を年2回設定する。実施計画表を作成する。	B	2学期に2回実施。次年度までの担当割の計画も作成できた。	
		生徒による授業評価の改善	1学期より2学期の評価が全ての項目でアップ	観点別学習に準じた項目を設定する。学期毎に調査を行う。	B	全項目で微増。授業中の発言は0.1ポイント増、授業の工夫やICT活用により生徒の表現力が向上したと思われる。	
キャリア教育(進路指導)	就職指導の充実	進路ガイドの検討	3年間を見通した進路マップの作成	進路ガイドを利用し、3年間を見通した意図的・計画的・組織的な進路指導を推進する。	B	各学期の見通しと振り返り、各行事の事前・事後の記録をさせることができた。	
		学年・学科・教科との連携	学校紹介の就職内定率100%	各学年・学科・教科と連携をとりながら、一人ひとりの希望に合わせた面接指導・学習指導を行い、進路実現に努める。	A	生徒一人ひとりの進路に合わせた全職員による面接指導や学習指導を行い、学校紹介の就職内定率は100%であった。	
		企業情報の共有	県内(地元)の企業を知り、学年末までに1年生の5割以上、2年生の7割以上が自己の希望する業種・職種を決める。	キャリアサポーターや職員が収集した求人状況等の最新情報を随時提供する。自治体等と連携し、進路ガイダンス等を行い、職業選択・決定に努める。	B	キャリアサポーターや職員が収集した進路情報を提供することができた。1年生99名中の1名、2年生113名中の4名以外の生徒は進学か就職か進路選択ができた。	
		進学指導の充実	学年・学科・教科との連携	多様な進路先に対応し進学合格率100%	各学年・学科・教科と連携をとりながら、一人ひとりの希望に合わせた教科指導・小論文指導等を行い、進路実現に努める。	A	一人ひとりの進路に合わせた教科指導・小論文指導を行い、第一希望への進学合格率は100%であった。
生徒指導	生徒支援の充実	不登校者数	生徒指導連絡会を毎月実施	生徒指導連絡会や生徒支援室会議での情報の有効活用とSSWやSCとの連携	B	生徒指導連絡会を毎月実施し、支援室会議は25回実施した。SSW1件申請、SC面談を月2回実施した。	
		校則見直しに向けた取り組み	生徒会と連携した枠組作り	1学期中に枠組を作り、2学期中に生徒総会を開き学校運営協議会に図って来年度へ反映させる	A	生徒部通信を利用して規範意識の向上に努め様々な問題提起をすることができた。また生徒会やHR委員と連携して校則改変へ向けた取り組みを具体的に実施することができた。	
		交通安全教育の徹底	交通違反・事故件数の減少	交通違反2件以下・事故件数9件以下	バイク通学生生に対しては年2回の原付講習会の徹底。自転車通学生徒歩通学生生に対しては街頭指導や交通講話等の機会を増やす	A	常に違反・事故件数0を目指し外部講師や機関と連携した交通安全教育の徹底がなされた。また、他校での交通安全教育活動の視察も行い本校生徒への啓発に常に努めた。
		主権者教育の充実	意識の高揚、選挙違反者数	主権者意識を高め、選挙違反者を出さない。	実際の選挙を意識した生徒会選挙の実施や、選挙の体験談を聞く機会を設ける。	B	生徒会選挙の前に、選挙の体験談を聞き、生徒会選挙では、本物の記載台、投票箱を使用した。
人権教育の推進	仲間の大切さを認める環境づくり	アンケート評価	なかまづくりのアンケートでの「うまくいった」の回答8割以上	生徒支援室と連携してLHR等でのピアサポートワークの実施。	B	今年度は1年生のチャレンジタイムの時間に実施することができた。「いつも話さない人と話すきっかけになった」等の感想もあり、多角的にお互いを認め合う人間関係づくりに有効であったと考える。	

	職員研修の充実	職員の参加状況	全員1回は研修へ参加する	山鹿市や県人教等主催の校外研修への参加。	B	本校職員から県人教大会(山鹿市開催)へのレポート報告が2本あり職員全体で学びの機会を得ることができた。校外研修が中止となり参加できなかった職員には県の「人権啓発 Web 講座」や「熊本県人権子ども集会」を聴講することで代替とした。
	命を大切に する心を 育む指導	アンケート 評価	4段階評価でアンケートを実施し、満足度平均 3.5 以上	生徒が興味を持てる講演会の講師・内容の選定。	B	同和問題(部落差別)のテーマで講演会を実施し、生徒のアンケートでは 3.5 であった。また、山鹿市人権擁護委員に協力をいただき、3年生対象にデート DV 防止人権教室を実施し、こちらも有意義であったと考える。
特別支援教育の推進	困り感を抱える生徒の把握	支援室会議と校内委員会の充実	支援室会議(週1回)、校内委員会(6・10月)の実施	困り感のある生徒の情報収集。	B	支援室会議は 25 回、校内委員会は6・12月に実施し、生徒の情報共有を行った。
	組織的な支援体制の構築	校内研修の実施および職員との面談の促進	校内研修(年1回)の実施 職員と SSW・SC との面談の実施	教職員間の連携と SSW・SC へのつながり。	D	校内研修は行っていない。職員と SC の面談については、生徒面談の後の情報共有で実施するようにしている。
	個々の生徒に柔軟に対応した支援や指導の充実	支援策の検討	個別の指導計画、支援計画作成とその活用及びケース会議の実施	支援策など情報共有と職員周知。	C	個別の指導計画、支援計画作成については、8月までに作成した。夏休みの生徒理解研修にて情報共有を行った。ケース会議は、その都度実施している。
いじめの防止等	いじめのない学校づくり	いじめの早期発見、早期対応の取組	月1回の生徒の状況に関する情報共有の実施	生徒指導連絡委員会での情報共有	A	毎月徹底した情報共有が図られ、早期対応早期解決に努めることができたおかげで重大事案が発生せずに済むことができた。
		いじめ事案数	0人 (昨年度 10 人)	いじめの発生しない環境作り。いじめ匿名通報アプリの一斉導入	B	2件発生しているが、確認してから学校・担任・保護者との連携がすぐに図られ解決へ向けた取り組みや見守り体制は万全に行われている。相談体制や対応は充実しているが発生しない環境作りはまだまだ検討の余地があると認識している。
地域連携 (コミュニティ・スクールなど)	地域連携の充実	「かぎぐるま」の活動	地域のイベントを中心に販売実習活動を積極的に行う。	コロナ禍前に行っていたイベントへの参加の再構築とともに、「来民門前市」という新しい取組を行う。	B	可能な範囲で販売実習(育友会総会、商工フェスタ)を行うことができた。さらに、来民門前市では出店協力を行うことができた。日常の学校生活で、いかに接遇マナーを育成を図るかが課題。
		技術/災害ボランティアの活動	熊本スーパーハイスクール事業を通して、地域と連携してボランティア活動を行う。デジタル化産業教育設備を活用した学校独自製品の開発を行う。	・商工害獣バスターズ ・親子ものづくり教室 ・鋤簾やリヤカー、踏んジェット、自動アルコール消毒噴霧の製作 ・本校ブランドの製品の製作(定規、コースター、名刺、キーホルダ、小物)	A	熊本スーパーハイスクールを軸に多方面で活動(箱わな製作、来民門前市、鋤簾、リヤカー製作等)ができた。また、デジタル化産業教育設備を活用し、本校独自のブランド25点を生み出し、展示や寄贈を積極的に行った。その成果が実り、受験生徒の増加につながった。
	コミュニティ・スクールの機能の充実	学校運営協議会の活動	防災教育の充実 校則見直しの枠組みの確立	年2回実施し、危機管理マニュアルや校則見直し等について外部の意見を取り入れる。	B	・対面型で実施することができ、学校の運営方針等の共通理解を図ることができた。 ・地域の意見を取り入れ学校の業務改善に活かすことができた。
		地域と連携した取組の実施	地域の要望に応える形で地域と連携した商品開発に取り組み、本校の存在意義を発信する。	害獣駆除システムの開発に地域と連携して4科で取り組み、地域貢献に繋げる。	A	来民門前市へ参画し、地域活性化に貢献することができた。

#### 4 学校関係者評価

##### (1) 評価された点

- ・キャリア教育では面接指導や学習指導の評価が高く、個を大事にして育てられていると感じた。その対応等が就職へもつながっていると思う。また、地域との連携を図り高校の取り組みを発信されているところが評価できる。
- ・アンケートでは「与えられた宿題は提出できている」の項目が当たり前できているのも良い。
- ・生徒に応じた進学・就職指導の取り組みがしっかりできている。就職進学率ともに100%の実績など高く評価できる。校則の見直しが「生徒指導提要」に添って計画的になされており、次年度の一学期末に伝え、R6年度へ反映させるとのことであるが、生徒と共に作り上げられており、より良い校則になると思う。
- ・KSHの取組は、地域貢献を主軸にした取組をされており、来民門前市での参画をはじめ、本校にも手作りのリヤカー等を提供していただくなど、ありがたく思っている。生徒の活躍している姿がいきいきしていた。
- ・ロボット製作やオリジナル商品の開発などすごく良いものづくりができている。最新設備を活用し、鹿本商工のものづくりを前面にアピールできると思う。
- ・本年度は、中学校に手作りのリヤカーを寄贈していただき、また、高校体験も9月にさせていただき、大変ありがたかった。今後も高校との連携を図りながら進路指導ができたら幸いである。

##### (2) 課題として指摘された点

- ・校則の見直しについては、昨年度にも点検、適宜改訂の方針を出されていたが、令和4年度秋口からの取組開始はやや遅いように感じる。
- ・数値目標がある項目の成果欄に数値成果が具体的に記載されていないものがある。改めて御検討をお願いしたい。

#### 5 総合評価

##### 1 学校教育目標

- ・学校評価アンケートにおける「本校での高校生活は充実している」の項目において、生徒の88%、保護者の89%が肯定的な回答をしている。また、「本校に入学させて良かった」の項目に対しては、生徒の89%、保護者の90%が肯定的な回答をした。また、「社会の一員としての意識(公平、公正、勤労、奉仕、公共心など)をはぐくむ指導は十分できている」の項目では、生徒の91%、保護者の76%が肯定的な回答をしており、「専門的な職業能力の育成に向けた指導が適切にできている」の項目では、生徒の97%、保護者の87%が肯定的な回答をしている。
- ・以上のアンケート評価から、本校の学校教育目標である「心身ともに健康で、豊かな心をもった生徒の育成」、「次代の産業を担う誠実で自立できる産業人の育成」、「地域社会から信頼される学校づくり」について、概ね達成することができた。

##### 2 本年度の重点目標

###### (1) 学力向上と教科指導の充実

- ・授業改善の取り組みとして、研究授業を年2回実施しており、計画的に割り振られた授業以外を放課とし、教職員全員が参観するといった特色ある取り組みを展開している。放課後の合評会も同様に担当の教職員がそれぞれの授業について意見交換をし、相互の授業力向上に努めている。
- ・生徒による授業評価アンケートについても「分かる授業、興味・関心を持てるような授業ができている」の項目について、91%が高評価の回答をしており、教科指導が充実していることが確認できた。

###### (2) 生徒指導の充実

- ・毎朝の登校指導が活発であり、生徒指導部を中心として様々な部署の先生が自発的に登校指導に加わっている。
- ・段階的指導が浸透しており、全職員の共通認識のもとに指導を行い、落ち着いた学校生活を送ることができている。

###### (3) キャリア教育の充実

- ・進路指導部及び3学年を中心とした進路指導体制が確立しており、TSMCの熊本進出に伴う求人状況の好転もあって、例年以上に早期の内定確定を決めることができた。ほとんどの生徒が第1志望の企業に内定し、進学者に至っては全員が第1志望に合格した。

###### (4) 人権教育・道徳教育・主権者教育の充実

- ・教職員の校内・校外の研修への積極的な参加による資質向上に取り組むことができた。
- ・外部講師を招へいた人権教育講演会を11月9日に実施し、人権や道徳に関する意識の涵養に努めた。
- ・6月実施の生徒会役員改選において、6限目の立会演説会及び投票に先立ち、5限目に主権者教育を実施した。主権者教育では選挙に関するクイズに解答し、実際に熊本県議会議員熊本市1区補欠選挙に投票した生徒や先生のインタビューを視聴するなど、工夫を凝らした内容となった。

###### (5) 地域連携の充実(クリエイトハイスクール)

- ・熊本スーパーハイスクール「クリエイトハイスクール」として、令和3年(2021年)10月11日から令和7年(2025年)3月31日までの期間の指定を受け、今年度から本格的にスタートした。地元自治体や関係団体等との連携・協働による地域資源を活用した探究的な学びを通して、課題解決に取り組み、持続可能な地域社会づくりに貢献する人材の育成を目指すものである。
- ・地元のイベントである来民門前市への参画や害獣駆除による地域貢献に関する研究、全国の災害支援やリヤカー等の寄贈、地域の子供たちを招いてのものづくり教室の開催等、様々な方面に積極的に取り組むことができた。当初計画した内容は着実に実践に移すことができている。
- ・3月4日にグランメッセで実施された全体発表会でも商工の取り組みは一定の評価を得ることができた。

##### 3 自己評価総括

- ・A評価としたものはキャリア教育、生徒指導、いじめ防止、そして地域連携の項目である。上記にも示したとおり、生徒指導が充実していることによって、生徒は落ち着いた学校生活を送ることができている、それが就職・

進学における実績に繋がっている。また商業と工業が協働して地域とも連携する取り組みが活発に行われた。

- ・C及びD評価とした特別支援教育については、具体的目標としていた校内研修等の実施ができなかったため、低評価としており、今後、職員の資質と専門性を向上させるために、外部講師を招いた職員研修を実施する。また、特別支援に関する校内支援体制を充実させるために、ガイドラインを策定し、個別の支援計画を活用していく。更に、かもと稲田支援学校高等部の校舎拡充工事が完成し、令和5年度からは鹿本商工高校と隣接した校舎での教育活動が始まるため、今後、支援学校との連携を深め、インクルーシブ教育システムを構築し、共生社会の形成に向けた取り組みを充実させていきたい。

## 6 次年度への課題・改善方策

### ○育友会活動

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で育友会活動がほぼできていない状況であったため、従来の活動以外にも新たな活動を検討する。他校の活動状況を把握し、取り組めるものがあれば積極的に取り入れ活性化につなげたい。

### ○観点別学習の評価

- ・令和4年度は1学年のみの対応であったが、全職員の意識を高めることと、評価にかける時間確保などが必要になると感じている。今後、職員研修を5月末に実施し、本校の評価方法について確認する。期末考査後の評価の時間確保を実施する。

### ○校則見直しと新たな校則の確立

- ・校則を定期的に見直ししていく取り組みは現在進行形で計画通り進んでいるが、昼休みにYouTubeを閲覧する状況が広がっており、注意をしても慌てる様子もない状況があるため、タブレット端末の使用方法についてのルール作りが急務である。

### ○いじめの発生しない環境作り

- ・いじめやトラブルが発生した際、それをいち早く相談する連絡先の情報提供や相談窓口体制の充実・早期解決へ向けた連携はできているが、いじめの発生しない環境づくりまではまだ実現できていないのが現状である。生徒達からはクラス皆が一体となるレクリエーション的な行事を求めている声がある。今後、クラスマッチ以外でのクラスの友好関係を充実させる取り組み等が、LHR等学年単位でも行うことができないか、学年主任と話し合いを持ちながら検討していきたい。

### ○広報活動

- ・さらなる入学人数の確保が必要である。継続的な広報活動を行うなかで、中学生や保護者のニーズ、傾向をより細かく分析し、広報活動に生かす。また、在校生の声をより盛り込んだ広報活動を行う。

### ○商業科

- ・感染症拡大防止を目的とした販売実習活動の自粛の影響は大きく、接客指導が徹底できていない。コロナ禍前に行っていたイベントの主催者と連絡を取り合い、地域イベントへの出店機会が増えるように心掛ける。

### ○工業科

- ・昨年度末に導入された最新のデジタル化対応産業教育設備の技術の習得が急務である。実習など基礎知識・技能の範囲については対応できているものの、教師自身が高度な技術を身に付け、生徒に魅力的かつ創造的な製品を生み出させる力を養うことが課題である。そのため、職員同士や企業による技術講習会、近隣の企業に出向いての見学会を実現していきたい。また、特定の設備（レーザー加工、マシニングセンター等）を用いたコンペを実施し、楽しみながら技術の向上を目指すことも検討していきたい。
- ・半導体大手のTSMCの熊本進出を受け、半導体分野の人材育成に力を注ぐことが急務である。具体的には電子機械科で対応する予定であるが、座学では「電子技術」の「第一章 半導体素子」で知識を増やし、3年実習で半導体の電子部品を用いた実験実習を行う予定である。職員の半導体に対する知識や技術力の向上をいかに進めていくかを模索している。

## 令和4年度（2022年度）学校評価アンケート結果考察

### 1 はじめに

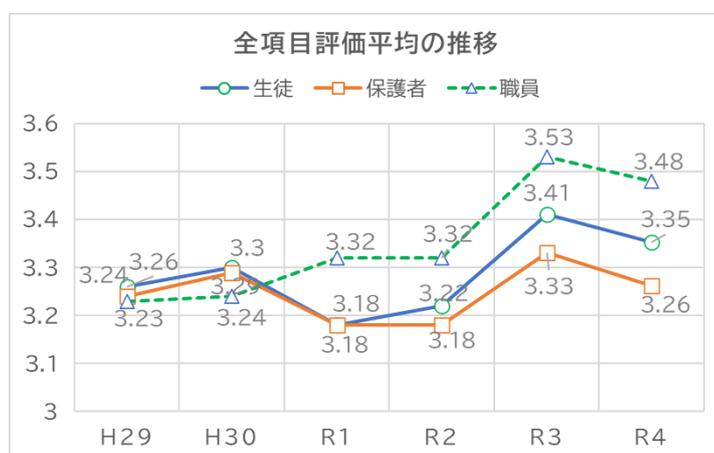
令和4年度学校評価アンケートは、生徒・保護者及び職員に対して実施した。回答数は、生徒274人、保護者289、職員45人で、回収率は生徒92.3%、保護者97.3%であった。延べ45項目についての質問事項の内容は、学校全般について6項目、教務関係事項8項目、進路関係事項5項目、生徒指導関係事項11項目、総務関係事項5項目、保健体育関係事項6項目、専門教育関係事項4項目となっている。各対象別の質問項目は、生徒対象で37項目、保護者対象で33項目及び意見記述欄、職員対象で40項目を設定した。評価については4段階評価を用いている。評価4を「よくあてはまる」、評価3が「ややあてはまる」、評価2が「あまりあてはまらない」、評価1が「全くあてはまらない」、として評価平均が4に近いほど評価が高い設定とした。

集計方法としては、昨年度から生徒に一人一台端末が整備されたことで、Google Formsを利用することができ、集計作業の大幅な省力化を図ることができた。

### 2 結果分析

#### (1) 全項目評価平均の推移

今回の学校評価アンケートの全項目の平均値をグラフに表したものが右図である。生徒・保護者・職員の意識が飛躍的に高まった昨年度から一様に減少した結果となった。今回の結果を厳しく受け止め、連携の強化や情報発信など一つ一つの取り組みを見直し改善につなげていきたい。



(全項目評価平均の推移)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
生徒	3.26	3.30	3.18	3.22	3.41	3.35
保護者	3.24	3.29	3.18	3.18	3.33	3.26
職員	3.23	3.24	3.32	3.32	3.53	3.48

#### (2) 生徒評価について

最高値を示した項目は、評価平均 3.56 の「与えられた宿題や課題は、きちんと学習し提出できている」(昨年度 3.55) 及び「実習時の安全作業の指導は適切にできている」(昨年度 3.67) の項目であった。

次いで、「交通安全教育（自転車や原付、委員会活動）の指導は適切に行われている」が 3.54 (昨年度 3.60)、「資格取得に対する指導は充分できている」が 3.53 (昨年度 3.63)、「育友会関係文書は確実に保護者に渡し、担任に提出することができている」が 3.52 (昨年度 3.56) であった。評価が最も低い項目は、「部活動をしたいと思っている。指導は適切に行われている」で 3.07 (昨年度 2.94) となった。

家庭学習や実習等の安全教育、資格取得等の項目で高い評価となっており、専門高校としての生徒の満足度は高い結果となった。

#### (3) 保護者評価について

最高値を示した項目は、評価平均 3.51 の「地域や校内で美化活動に積極的に取り組

み、校内はきれいに整備できている」(昨年度 3.53) の項目であった。

次いで、「生徒徴収金に対する会計の明瞭化は適切にできている」が 3.46 (昨年度 3.46)、「丁寧で的確な電話の対応ができている」が 3.45 (昨年度 3.51)、「資格取得に対する指導は充分できている」が 3.44 (昨年度 3.49)、「専門的な知識・能力の育成に向けた指導が適切にできている」が 3.43 (昨年度 3.45) であった。評価が最も低い項目は、「家庭学習の指導は適切にできている」で 2.86 (昨年度 3.05) となった。

今年度における学校行事は、コロナ禍の中でも感染対策を十分に行ったうえでほぼ実施できたものの、保護者の参加については商工フェスタを除いてほぼ実現できなかった。そのため、学校の様子ほとんど分からなかったという記述もあり、情報発信の在り方についての課題が残った。

#### (4) 職員評価について

最高値を示した項目は、評価平均 3.78 の「学校新聞やホームページ、一斉メールをとおり、生徒、保護者に対して適切な広報ができている」(昨年度 3.57) 及び「挨拶や服装など身だしなみの指導は適切にできている」(昨年度 3.76) の項目であった。保護者や地域への積極的な情報発信により生徒・保護者及び卒業生の満足度を高めるとともに、地域における鹿本商工の存在意義を高め、生徒募集につなげていきたい。

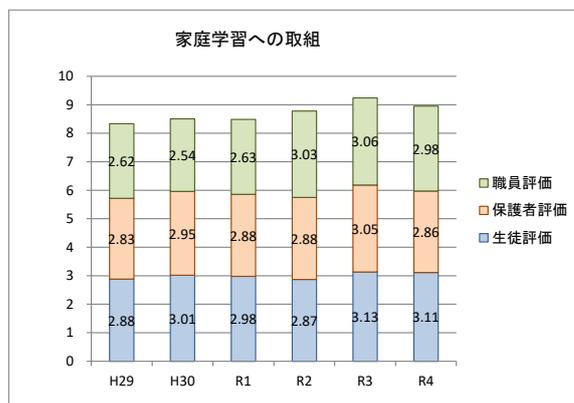
次いで、「図書館は利用しやすい環境になっている」が 3.76 (昨年度 3.73)、「安全面・健康面に十分配慮した指導ができている」が 3.71 (昨年度 3.78)、「いじめなどへの対応は適切にできている」が 3.69 (昨年度 3.71) であった。評価が最も低い項目は、「校務改善で生徒と向き合う時間が以前より増加した」で 2.78 (昨年度 2.96) となった。この項目は依然として低い傾向にあり、課題が残る結果となった。

#### (5) 過年度比較について

いくつかの特徴的な項目について、本年度を含めた過去 6 年間の評価平均を棒グラフで表した。

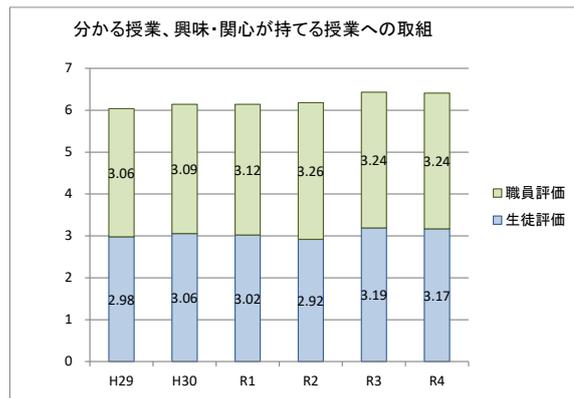
#### ア 宿題や課題への取組

これまで上昇傾向にあった学習課題への取組状況は今回微減となったが、生徒による評価項目の中では今回が一番高い値を示した。基礎学力の定着のためにも、主体的に学びに向かう姿勢を伸ばし、家庭学習に着実に取り組むよう今後とも指導していきたい。



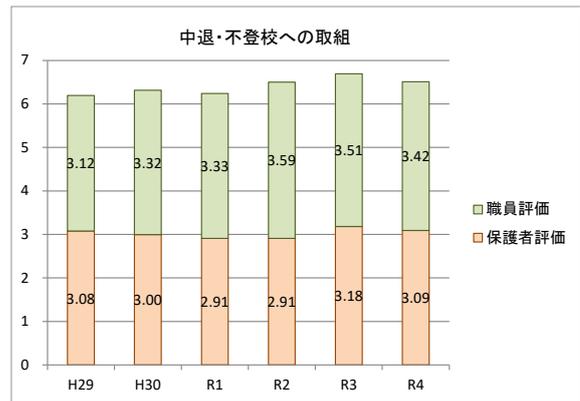
#### イ 分かる授業、興味・関心を引く授業への取組

分かる授業・興味関心を引く授業の改善については、本校において従来から継続的に取り組んできたものの、昨年度からの評価は下がった。ICT の活用についても今後さらに研究を重ねることで、生徒が「分かった」と実感できる工夫を重ねていきたい。



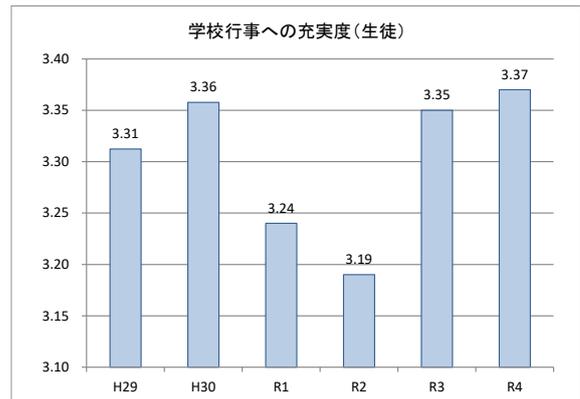
### ウ 中退・不登校への取組

担任・学年を中心として、生徒支援室や生徒指導部、スクールカウンセラーなど様々な部署が主体的に関わりながら注意深く生徒の見守り支援を進めているものの、様々な事情から進路変更に至る生徒がいるのが現状である。SCやSSWの活用を更に進めるなど、支援体制を充実していく。



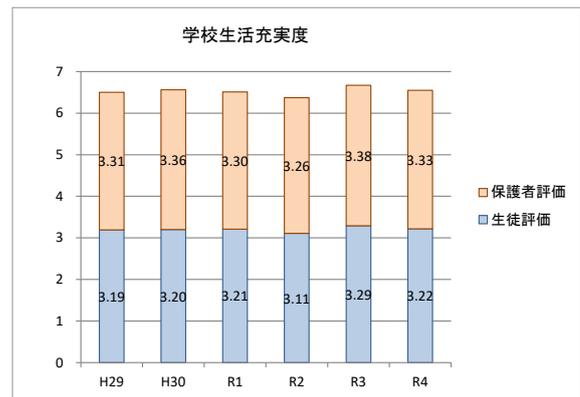
### エ 学校行事の充実度（生徒）

学校行事については、コロナ禍においても感染対策を万全に行ったうえで開催することができた。今年度は商工フェスタにおける保護者や兄弟の観覧が実現できたことが昨年度よりも評価が上がったことにつながったものと考えている。



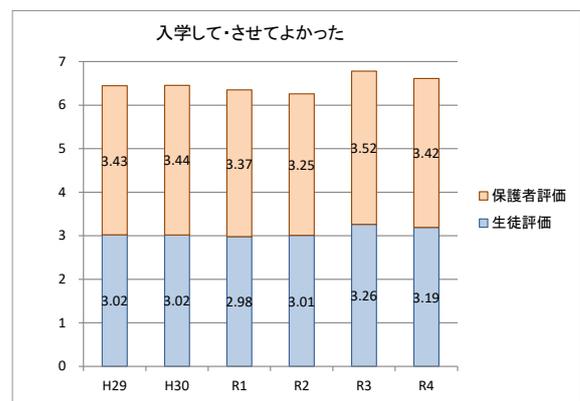
### オ 学校生活充実度

生徒の「学校が楽しい」、保護者の「毎日楽しそうに学校に行っている」といった記述からも、充実した学校生活を送っている様子が窺え、全体としては高い評価を維持しているものの、そう感じていない生徒が積極的に学校生活を送ることができるよう導いていくことが今後の課題である。



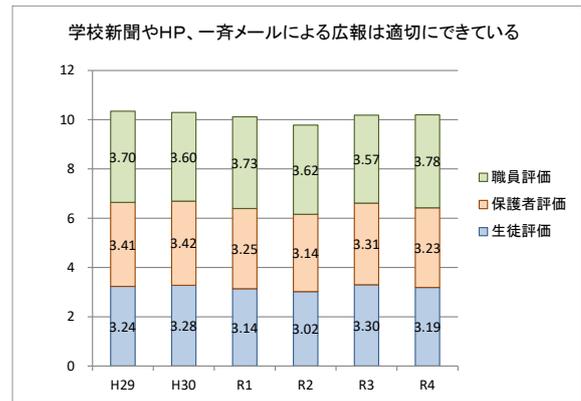
### カ 本校に入学してよかった

「良くあてはまる」と答えた生徒の割合は、3年生が32%、2年生が25%、1年生が44%であった。また保護者の割合は48%であった。生徒に対しては指導の意味を理解させながら進路実現に向けた目標を見つけさせていく。また保護者との連携をさらに深めていきたい。



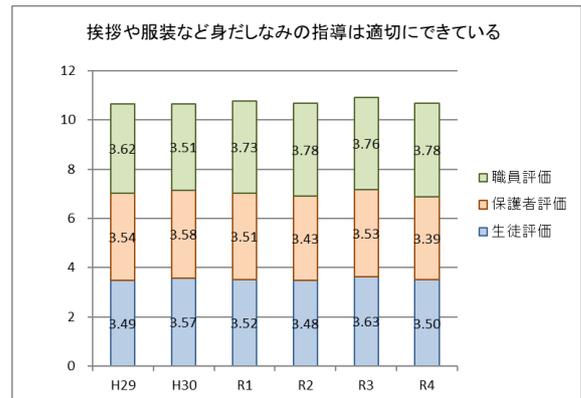
## キ 広報活動

今年度は、最新設備の披露会や害獣駆除等の地域貢献、来民門前市など、新聞やテレビ等のマスメディアへの投げ込みを積極的に行い、PR活動を行った。また同窓会や保護者を通してポスターを地域のコンビニやイベント会場等へ掲示していただいた。HPもより充実してきたことで、本校の教育活動が更に広く伝えることができたのではないかと考える。その成果として、前期（特色）選抜の出願者数は昨年度から向上した。今年度113人（昨年度94人）。



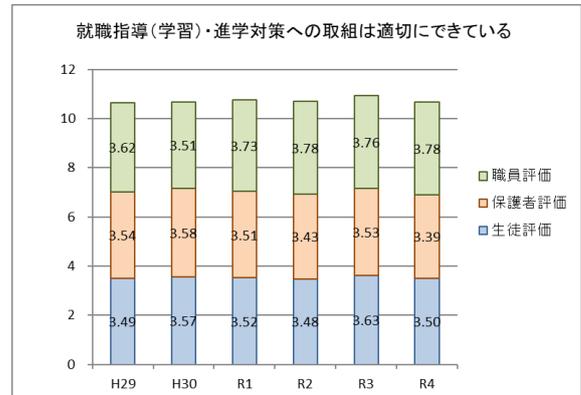
## ク 生活指導

地域の産業人育成を担う本校では、挨拶や基本的な生活習慣、規範意識を育む指導にも力を入れているところである。落ち着きのある学校生活を送り、安定した進路実現にもつなげていくためにも大事な根幹部分であるが、今回のアンケートでも要望が多かった校則の見直しについては、今後生徒や保護者・地域の声なども取り入れながら見直しを図っていく予定である。



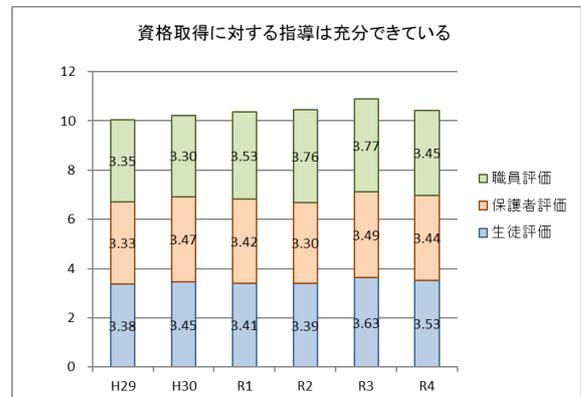
## ケ 進路指導

企業からの求人状況は、TSMCの熊本県への進出の影響もあり、依然として好調である。ほとんどの生徒が第1志望の企業から内定をいただいております。また、進学においても全員が第1志望の進学先に合格しました。国立長崎大学への合格を決める等、充実した進路指導の成果が表れた年となった。



## コ 資格取得指導等専門教育への取り組み

本校では資格取得にも力を入れており、科の特色に応じた様々な資格を紹介し積極的な受験を促している。生徒・保護者による記述内容からも資格取得に対する意欲・向上心を強く感じている。アンケートによる資格取得指導に対する満足度は生徒が0.1p減、保護者が0.05p減となったが、依然として高い値を示す結果となった。



### 3 自由記述欄から

#### (1) 生徒アンケート

- 学校生活が楽しい。商工フェスタなど、楽しい行事がある。
- 学びたいことを学ぶことができ、その知識や技術が日常生活においてとても重要なものとなっている。
- 資格・検定の取得に向けての対策がしっかりされていて安心できる。たくさんの資格が取れる。先生が積極的に受かるように指導してくれるのがありがたい。先生が熱い。
- 自分の就きたい職業の分野を学べるから。
- 就職先の幅が広い。
- 就職試験の対策がとてもされていて試験勉強や面接練習がやりやすかった。
- 校則が厳しい。

#### (2) 保護者アンケート

- 毎日楽しそうに通っている。子供本人が充実した高校生ライフを楽しんでいる。
- 守らないといけない事をきちんと教えられ、子供達も面倒と言いながらも理解している。
- 子供が学校生活が充実しているように感じるから。
- 子どもが毎日楽しそうに家を出ていく姿を見れる。本当に良かったと思います。
- 本人の目標を見つけるきっかけが出来たと思うから。
- 専門分野が学べる。
- 進路決定に幅がある。
- 資格取得に向けて自ら進んで受験したり、部活も充実できている。資格取得等で本人のやる気、自信に繋がっていると思う。
- ものづくりに興味を持っている。
- 資格取得や進路の為の指導を本人任せではなく、もう少ししてほしい。
- 先生次第で授業の質が違う様に思います。基礎教科は勿論、専門教科は授業次第で理解しづらくなる事もあると思います。子供に寄り添った授業をお願いします。
- 生徒への決めつけ、偏見での押しえつけた指導。ただ厳しくしただけ。先生が1番正しい、間違いないと聞く耳もたず。朝の連絡はいつも留守電で繋がらない。
- 鹿本商工に通わせて、本当に良かったと思う。資格取得や日常の生活など、本当に指導が行き渡っていると思います。
- 鹿本商工へ進学したことをよかったと感じることは多いのですが、校則が厳しすぎるのではないかと思います。ルールを守ることの大切さはよくわかりますし、身だしなみも大事です。しかし大人になっていく今、言われるがままではなく、自分達で判断し常識を身につけることも大事かと。
- 入学して今日まで、本当に不満もありません。先生達の指導と対応は素晴らしいと思います。いつも、ありがとうございます。
- 学校生活はかなり充実していると感じます。本当にこの学校へ通うことができ良かったと思います。
- 事務所前にある、生徒や学校での様子の写真が表示されていますがそこに来た時にしか見れないのがもったいないと思いました。来校した時の限られた時間でしか見れないので何か手立てがあれば見たいと思いました。
- どうしても入学したい商工に入り、充実した高校生活を送り、第一志望の企業に就職が決まり、商工に入学して本当に良かったと思います。
- コロナに、振り回された3年間でした。学校もいろんな面で、ご苦労が絶えなかったと思います。そんな中でしたが、子どもなりに学校生活を楽しんでいたと思います。ただ、少し残念なのは、いろいろな大会で、良い成績を残しているのもっとPRしていい

と思います。お世話になりました。

- いつもご指導ありがとうございます。学校の状況が、子供からは全く入ってはこないです(検定の日も前日に言われたり、課外の始まる時に言われギリギリに知る)。検定は同じのに2回3回と不合格になるのが、もったいない。本人が不明点を先生に聞けない。というのが問題ですが、検定前だけでなく理解の確認などフォローしていただけると有難いです。親に言われても専門のことはわからないので…。大変な中かと思いますが、どうぞ検定で合格!!という喜びで次に繋げて行きなないと思っておりますので今一重よろしくお願い致します。
- 3年生に上がり就職・進学を目指す子供たちの為に春期・夏季講習など学力向上を目的とした活動が無かったのは残念に思いました。
- コロナ禍で授業参観ができなくなったことは残念です。それぞれの科での専門的な授業はどのように行われているのか、どんな勉強をしているのかとても興味があります。小中学校で行われている学校へ行こう会のようなことができればいいなと思います。
- 校則など、もう少し生徒の意見を尊重し任せてもいいのではないかと思います。特に髪型に関しては、厳しすぎるような気がします。
- 職場体験・見学をもっとたくさんさせて自分に合った社会生活をビジョンとして見せる活動を増やして欲しい。
- テスト前1週間は部活動は休みにしてほしいです。学力低下につながります。イベント前にだけ部活を集中させ、テストに影響するのであれば、日頃からの部活日数を増やせばよいと思います。
- 安心メールで月の予定表を送ってもらえると助かります
- 服装検査の眉毛検査方法に少し疑問があります。何も触らないほうが、身だしなみが出来ていない様にみえます。時代に合った指導をして欲しいと思います。
- 保護者不参加のイベント等殆どなくて残念でした。コロナ禍でもできる事を、より工夫が、欲しかったです。
- 学内、校外活動中の事故や怪我の時の、保護者への連絡や報告が遅かったことがあり、気になった時がありました。一通り処理が済んでからの連絡ではなく、起こった時点ですぐに連絡すべきと思います。
- バイトすることに対して柔軟な対応をして欲しい。

学校評価アンケート集計結果

	質問項目	R4年度			R3年度			増減		
		生徒	保護者	職員	生徒	保護者	職員	生徒	保護者	職員
1	学校新聞やホームページ、一斉メールをとおり、生徒、保護者に対して適切な広報ができています。	3.19	3.23	3.78	3.30	3.31	3.57	-0.11	-0.08	0.21
2	学校行事である商工フェスタやクラスマッチ等はコロナ禍の中でも楽しく参加できた。	3.37			3.35			0.02		
3	生徒徴収金に対する会計の明瞭化は適切にできている		3.46			3.46			0.00	
4	本校の校内研修は、資質向上に役立っている。			3.53			3.55			-0.02
5	分かる授業、興味・関心を持てるような授業が行われている。	3.17		3.24	3.19		3.24	-0.02		0.00
6	本校は基礎学力向上のため、十分な学習指導ができています。	3.28	3.21	3.24	3.29	3.28	3.37	-0.01	-0.07	-0.13
7	公開授業や研究授業により教科指導の工夫改善を行い、分かる授業を行うことができています。			3.31			3.45			-0.14
8	与えられた宿題や課題は、きちんと学習し提出できている。	3.56	3.25	3.38	3.55	3.32	3.47	0.01	-0.07	-0.09
9	考査前の学習指導は適切にできている。	3.41	3.21	3.49	3.50	3.29	3.57	-0.09	-0.08	-0.08
10	家庭学習の指導は適切にできている。	3.11	2.86	2.98	3.13	3.05	3.06	-0.02	-0.19	-0.08
11	学年ごとに生徒の進路に応じた指導(キャリア教育)ができています。	3.34	3.20	3.47	3.37	3.30	3.59	-0.03	-0.10	-0.12
12	進路ニュース等の情報提供は、適切にできている。	3.26	3.14	3.33	3.33	3.15	3.35	-0.07	-0.01	-0.02
13	自らの進路を考える環境があり、望ましい職業観や勤労観を学ぶことができています。	3.33	3.17	3.44	3.41	3.25	3.53	-0.08	-0.08	-0.09
14	社会の一員としての意識(公平、公正、勤労、奉仕、公共心など)をはぐくむ指導は十分できています。	3.27	3.19	3.56	3.44	3.26	3.61	-0.17	-0.07	-0.05
15	就職指導(学習)・進学対策への取組は適切にできている。	3.34	3.25	3.62	3.45	3.31	3.59	-0.11	-0.06	0.03
16	基本的な生活習慣や規範意識をはぐくむ指導は十分できています。	3.32	3.24	3.64	3.38	3.30	3.69	-0.06	-0.06	-0.05
17	挨拶や服装など身だしなみの指導は適切にできている。	3.50	3.39	3.78	3.63	3.53	3.76	-0.13	-0.14	0.02
18	地域や校内で美化活動に積極的に取り組み、校内はきれいに整備できている。	3.30	3.51	3.47	3.31	3.53	3.55	-0.01	-0.02	-0.08
19	命の大切さや人間関係づくりをはぐくむ指導は十分できています。	3.42	3.27	3.56	3.48	3.34	3.53	-0.06	-0.07	0.03
20	いじめなどへの対応は適切にできている。	3.40	3.21	3.69	3.48	3.24	3.71	-0.08	-0.03	-0.02
21	本校の人権教育は適切であり、人権について考える内容である。	3.36	3.22	3.53	3.48	3.27	3.63	-0.12	-0.05	-0.10
22	日頃から、周囲の人に対して、人権尊重を意識した言動に心がけている。			3.60			3.65			-0.05
23	関わる生徒に対して本校で充実した生活を送れるよう指導を尽くしている。			3.67			3.67			0.00
24	中退者・不登校を減らすための手立てを組織的に取り組むことができています。		3.09	3.42		3.18	3.51		-0.09	-0.09
25	本校での高校生活は充実している。	3.22	3.33		3.29	3.38		-0.07	-0.05	
26	ボランティア活動の情報提供や取組は十分にできている。	3.30	3.15	3.29	3.03	3.17	3.00	0.27	-0.02	0.29
27	学校版ISOの取組(節電、節水、整理整頓)は十分できています。	3.16		3.24	3.45		3.16	-0.29		0.08
28	育友会関係文書は確実に保護者に渡し、担任に提出することができています。	3.52	3.22	3.53	3.56	3.26	3.53	-0.04	-0.04	0.00

	質問項目	R4年度			R3年度			増減		
		生徒	保護者	職員	生徒	保護者	職員	生徒	保護者	職員
29	広報誌「風青」及び校誌「樹齡」は生徒の活動を理解する内容になっている。	3.27	3.26	3.53	3.27	3.28	3.57	0.00	-0.02	-0.04
30	図書館は利用しやすい環境になっている。	3.51	3.31	3.76	3.67	3.36	3.73	-0.16	-0.05	0.03
31	図書館だよりで紹介された本は読書の参考となる内容になっている。	3.37		3.64	3.40		3.67	-0.03		-0.03
32	芸術鑑賞は心豊かになる内容となっている。	3.44		3.62	3.42		3.67	0.02		-0.05
33	自らの健康(心身の健康や体力の向上)管理ができる指導ができています。	3.36	3.16	3.40	3.40	3.24	3.41	-0.04	-0.08	-0.01
34	安全面・健康面に十分配慮した指導ができています。	3.39	3.25	3.71	3.53	3.32	3.78	-0.14	-0.07	-0.07
35	校務改善で生徒と向き合う時間が以前より増加した。			2.78			2.96			-0.18
36	交通安全教育(自転車や原付、委員会活動)の指導は適切に行われている。	3.54	3.36	3.62	3.60	3.37	3.67	-0.06	-0.01	-0.05
37	施設の安全管理は適切にできています。	3.51	3.34	3.47	3.60	3.39	3.51	-0.09	-0.05	-0.04
38	丁寧で的確な電話の対応ができています。		3.45	3.67		3.51	3.65		-0.06	0.02
39	部活動をしたと思っている。指導は適切に行われている。	3.07	3.25	3.11	2.94	3.32	3.39	0.13	-0.07	-0.28
40	チャレンジタイムの活用で学習や読書への意識を高めることができています。	3.24			3.29			-0.05		
41	資格取得に対する指導は充分できています。	3.53	3.44	3.45	3.63	3.49	3.77	-0.10	-0.05	-0.32
42	専門的な知識・能力の育成に向けた指導が適切にできています。	3.47	3.43	3.53	3.56	3.45	3.68	-0.09	-0.02	-0.15
43	実習時の安全作業の指導は適切にできています。	3.56		3.59	3.67		3.80	-0.11		-0.21
44	実習室はきちんと整理整頓され、安全で学習にふさわしい環境が整っている。	3.46		3.50	3.64		3.66	-0.18		-0.16
45	本校に入学して・させて良かったと思っている。	3.19	3.42		3.26	3.52		-0.07	-0.10	
	平均値	3.35	3.26	3.48	3.41	3.33	3.53	-0.06	-0.06	-0.05
	最大値	3.56	3.51	3.78	3.67	3.53	3.80	0.27	0.00	0.29
	最小値	3.07	2.86	2.78	2.94	3.05	2.96	-0.29	-0.19	-0.32